

厚生労働省
平成28年4月26日
18時00分現在

熊本地震について（第29報）

1 厚生労働省における対応（4/17 21:00 現在）

- 04/14 21:26 厚生労働省災害情報連絡室設置
- 22:30 厚生労働省災害対策本部設置
- 22:45 厚生労働省災害対策本部第1回会合開催
- 04/15 07:30 厚生労働省災害対策本部第2回会合開催
- 11:50 熊本労働局内に、6名体制の「厚生労働省現地対策本部」を設置。
- 04/16 11:00 厚生労働省災害対策本部第3回会合開催
- 04/17 16:00 厚生労働省災害対策本部第4回会合開催予定

2 水道の被害状況（4/26 18:00 現在）

初期対応として、震度5弱以上を記録した自治体へは厚生労働省から直接情報の確認を実施し、全ての自治体と連絡が取れ状況を確認済み。その後の状況は、その他の地域を含め県が被害状況をまとめ厚生労働省へ報告を随時実施。

(1) 断水状況

- 2県（熊本県、~~大分県、~~宮崎県）9市町村で1万4,717戸が断水（前回比▲1,778戸）。
- ・熊本県：2市4町2村で1万4,617戸が断水（前回報告比▲1,776戸）
※熊本市内は32万6,373戸が仮復旧し、500戸が引き続き断水。
- ・~~大分県：1町2戸が断水~~
- ・宮崎県：1町で100戸が断水

※ 被害報告のあった地域を記載

県、市町村名	最大断水戸数	現在の断水戸数	断水期間	被害状況
【熊本県】 宇城市 (うきし)	11,215戸	0戸	4/14～4/26	漏水のため断水（復旧済み）。3,159戸についてはAM6:00～時間給水を行い、配水池の水がなくなり次第断水（夜間断水）。
益城町	約11,000戸	約7,340戸	4/14～	漏水により断水継続中。

(ましきまち)				15 日断水一部解消（戸数不明）するも 16 日地震で再度断水。一部復旧済み
御船町 (みふねまち)	6,590 戸	1,809 戸	4/14～	配水管が漏水。 復旧作業継続中。
熊本市	326,873 戸	約 500 戸	4/21～500 戸	基幹送水管が破損（復旧済み）。 約 500 戸は断水継続中。 また、一部地域で夜間計画断水。
西原村 (にしはらむら)	2,652 戸	1,079 戸	4/16～	配水池・管路の損傷等により断水中。
大津町、菊陽町 【大津菊陽水道企業団】	約 31,000 戸	80 戸		配水管で多数の漏水（現在修理中）
玉名市 (たまなし)	122 戸	0 戸	4/15～4/21	原水濁度上昇により断水（復旧済み）。
菊池市	3,000 戸	0 戸	4/17～4/22	原水濁度上昇により断水（復旧済み） 濁水による飲用不可 2,600 戸。
山都町 (やまとちょう)	2,760 戸	0 戸	4/14～4/25	配水池水位低下等のため断水（復旧済み）。 濁水発生のため飲用不可 1,819 戸。
甲佐町 (こうさまち)	697 戸	184 戸	4/15～	配水管が数カ所漏水。 配水所運用開始。 数日中に断水解消見込み。
美里町 (みさとまち)	600 戸	0 戸	4/15～4/16	源水タンク破損（復旧済み）。 濁水発生のため飲用不可 600 戸。
宇土市 (うとし)	約 9,200 戸	0 戸	4/16～4/18	管路等漏水（復旧済み）。 夜間断水解消。
小国町 (おぐにまち)	177 戸	0 戸	4/16～4/20	漏水修理（復旧済み）。 濁水のため飲用不可継続 177 戸
南阿蘇村 (みなみあそむら)	3,503 戸	1,583 戸	4/16～	施設の損壊等により断水。
産山村	200 戸	0 戸	4/16～4/20	管路から漏水（復旧済

(うぶやまむら)				み)。
玉東町 (ぎょくとうまち)	0戸	0戸		濁水発生(解消済み)。
合志市 (こうしし)	約3,000戸	0戸	4/16	漏水等による断水(復旧済み)。 濁水発生のため飲用不可(解消済み)。
人吉市 (ひとよしし)	約7,000戸	0戸	4/16~4/18	配水池の濁水で断水発生(復旧済み)。
阿蘇市	約10,000戸	2,042戸	4/16~	水道管破損のため断水、 一部地域で濁水
南小国町 (みなみおぐにまち)	2戸	0戸	4/16~4/17	水道管破損(復旧済み)。 濁水により飲用不可814戸
高森町 (たかもりまち)	2,866戸	0戸	4/17~4/21	停電による全戸断水(復旧済み)。
小計	432,457	14,617		
【大分県】 日田市 (ひたし)	267戸	0戸	4/14~4/18	停電による断水(復旧済み)。 水道水に濁りが発生しているため飲用を控えることを広報し対応している。 飲用不可163戸。
中津市 (なかつし)	23戸	0戸	4/16~ 4/16 21:00	水源・配水池に濁り(復旧済み)。
由布市 (ゆふし)	3,442戸	0戸	4/16~4/23	漏水による断水(復旧済み) 一部地域で色度が高いため飲用不可1,490戸 (解消済み)
別府市 (べっぷし)	5,740戸	0戸	4/16	配水管の漏水による断水。 系統切替で断水解消。 (復旧済み)
九重町 (ここのえまち)	791戸	0戸	4/16~4/26	水源からの取水が一部可能となったため試験通水を開始(復旧済み) 飲用不可48戸 (代替水源から仮設配管を施工中。)
竹田市	0戸	0戸		濁水発生(解消済み)。

(たけたし)				
豊後大野市 (ぶんごおおのし)	0戸	0戸		濁水発生(解消済み)。
宇佐市 (うさし)	0戸	0戸		濁水発生による飲用不可 146戸
小計	10,263	0		
【宮崎県】 五ヶ瀬町 (ごかせちょう)	0戸	0戸		濁水発生のため飲用不可約 140戸
延岡市 (のべおかし)	30戸	0戸	4/16	(復旧済み)
高千穂町 (たかちほちょう)	2,700戸	100戸	4/16~	原水濁度上昇により断水。 濁水発生(解消済み)。
美郷町 (みさとちょう)	28戸	0戸	4/16	配水管破損のため断水 (復旧済み)。
小計	2,758	100		
【福岡県】 久留米市 (くるめし)	70戸	0戸	4/16	配水管破損(1箇所) (復旧済み)
小計	70	0		
【長崎県】 南島原市 (みなみしまばらし)	35戸	0戸	4/16	配水管破損のため断水 (復旧済み)。
雲仙市 (うんぜんし)	15戸	0戸	4/16	濁水発生に伴う配水池 清掃のための系統切り 替えによる断水。 (復旧済み)
小計	50	0		
【佐賀県】 神崎市 (かんざきし)	10戸	0戸	4/16	(復旧済み)
小計	10	0		
【鹿児島県】 出水市	249戸	0戸	4/16	配水管亀裂により漏水。 (復旧済み)
小計	249	0		
合計	445,857	14,717		

(2) 復旧見通し(見込み)

(単位：戸数)

都道府県	市町村	復旧見込み		計	備考 (市町村からの 応援態勢)
		短期 (1週間程 度)	中長期 (2週間程 度またはそれ 以上。数ヵ月 程度を含む。)		
熊本県	宇城市	(2→) 0	-	(2→) 0	鹿児島市 (3名) 始良市 (2名) 鹿屋市 (1名)
	益城町	約 (120→) 80	約 (8,220→) 7,260 [うち、 3,000 ^{注2}]	約 (8,340→) 7,340	宮崎市 (4名) 佐賀市 (2名) 串間市 (1名)
	御船町	約 (1,750→) 1,710	約 (160→) 100 [うち、100 ^{注2}]	約 (1,910→) 1,810	松江市 (2名) 出雲市 (2名)
	熊本市	約 500	-	約 500	東京都、福岡市 等 (54名)
	西原村	約 820	約 260	約 1,080	神戸市 (7名)
	大津町	(-→) 約 70	約 (80→) 10	約 80	
	山都町	0	0	0	
	甲佐町	約 (200→) 180	-	約 (200→) 180	支援依頼検討中
	南阿蘇村	約 (60→) 360	約 (1,530→) 1,230 [うち、 320 ^{注2}]	約 1,590	調整中
	阿蘇市	約 (700→) 0	約 (2,000 →) 2,040	約 (2,700 →) 2,040	大分市 (4名)
大分県	九重町	(2→) 0	-	(2→) 0	
宮崎県	高千穂町	約 100	-	約 100	
	計	約 (4,250→) 3,820	約 (12,250→) 10,900 [うち、 3,420 ^{注2}]	約 (16,500→) 14,720	

(注 1) 四捨五入の関係で、合計が合わない場合がある。

(注 2) 家屋等損壊地域 (地震により家屋等が大きく損壊した地域で、地域の復興に合わせて水道も復旧・整備する予定として市町村から報告のあったもの) を示す。

(3) 応急給水の実施状況

- 熊本市等からの給水車の派遣要請に対し、全国の水道事業者が、応急給水を実施中。
給水車を確保 108台 (26日 17:00)
応急給水を実施中 105台 (26日 17:00)
現場へ移動中 0台 (26日 17:00)
待機中 3台 (26日 17:00)

(4) 調査員の派遣について

派遣場所：熊本県熊本市ほか

派遣期間：平成28年4月15日・16日、4月18日～状況把握等が終了するまで

(5) 技術職員等の派遣等

- 必要な技術支援を把握すべく、厚生労働省職員が被災市町村を個別訪問し、その結果をもとに、日本水道協会、全国管工事業協同組合連合会と連携し、
 - ① 短期的課題（水源の濁りや小規模な漏水）に対しては、速やかな技術職員及び管工事業者の派遣等、
 - ② 中長期的課題（周辺一帯の土砂崩れや施設の損壊等）に対しては、被害状況を正確に把握した上で、復旧計画策定の支援、専門的な知見を有する技術職員による調査の実施、技術職員及び管工事業者の派遣など、個別に必要な対応策を実施。

(熊本市)

~~○技術系職員（熊本市：130名、他自治体：54名）管工事業者（熊本市：200名、熊本市外：60名）が漏水調査及び復旧工事に従事中。~~

○通水した一部の地域（熊本市内の人口の約(12%→)8%と試算）において、配水管の破損により、水が出にくいことから、**これまで従事してきた技術系職員（熊本市：130名、他自治体：(56→)54名）、管工事業者（熊本市：200名、熊本市外：(60→)56名）に加えて、**日本水道協会と全国管工事業協同組合連合会が全国の自治体の技術系職員及び管工事業者で構成される38班（約300名）を派遣し対応中。

○さらに追加の応援を厚生労働省から日本水道協会及び全国管工事業協同組合連合会に要請し、調整中。

(熊本市以外)

○全国の自治体から**(24→)28名**の技術系職員を派遣。

○被災地以外より管工事業者**(34→)34名**を派遣。

○厚生労働省職員が熊本県内の被災市町村を個別訪問しニーズを把握し、早急に全国の自治体による支援につなげる。

(5) 資機材の調達の調整

- 資材が不足している熊本県高森町については、その調達について日本水道協会と調整。

(6) 市民への広報の充実

- 被災者の不安を解消し、正確な情報に基づいて行動できるよう、被災地の水道事業者から、応急給水の予定や水道の復旧見込みに関してきめ細やかな情報発信を行う。